

赤い靴通信 437号

中区生まれの私はその後南区、磯子区、金沢区と住いが変わりました。70年近く自動車通勤でしたので、よく八幡橋(磯子区)を渡ります。この橋は私にとって意味の深い橋です。

実は私の曾爺さん「安波屋傳三郎松永」は貸し船を生業としていましたが、明治初めの頃、陸路であった八幡さま辺りからおさんの宮近くまでを掘割りにし中村川(南区)と合流させるための工事、それは、千葉県から江戸湾をまっすぐ船で横浜中央まで、楽に人や物を運ぶという計画の横浜入札に参加し、見事落札し、下受を工事を請負ったのです。

そして出た土を埋め立て地に盛り、商業地や住宅地を造る事業に参加したのです。その土運びのために古い船を修理して使い、工事が終わった時に何艘もの船をその地に埋めたとのこと。明治のことでしたが、30年ほど前の平成時代に、国土交通省より「工事遺産」として認定されました。その工事担当者は今やこの世の人ではないのですが、お褒めいただく工事であったことを私も嬉しく思います。

曾爺さんは、その請負工事の前から貸し船業を千葉の船橋辺りで営み、明治、大正時代には両国の花火に船を出し、見学者用にも何艘か貸出し、それらを引っ張るポンポン蒸気船もあったと父から聞きました。私はポンポン蒸気船の煙の匂いが好きで小学生のころ石川町の川辺で船を見つけよく嗅ぎに行きました。さて、母方の一族は明治に三浦から横浜に来て亀の橋の際に米問屋を開業しました。近所には、現在銀座にある松屋が「鶴屋」という名でありました。家の前が川で、同じ頃、千葉の富津から亀の橋まで明治丸という名でフェリーボートを開業しました。富津辺りから横浜へ電車であるのは「おかまわり」といって時間がかかり大変だったのですが、フェリーの就航で双方の地で仕事をしていたから帰れるし、新鮮な食料や花などを運べるし、船の料金も安かったので大賑わいだったそうです。唯、富津には岸壁がなく小舟で本船まで来て、乗り変えるので荷物の時は大変だと聞いていました。

戦後、再び元町で船の営業始めますが、船への荷物の積み込みスペースの問題などで、続けることが難しくなり、京浜急行に権利を移譲したのです。現在では、車まで一緒に運べる大きなフェリーが久里浜から金谷まで通っています。

八幡橋の下の川を今日も一杯荷物を積んだ船が動いています。両サイドの道も、トラックが自家用車が便利に近道しています。その道の周辺には4間道路がつながり岡村へ行かれます。滝頭には美空ひばりの生家や卒業した小学校があったりします。

Y校時代には私はボート部で「エイト」という8人乗がほとんどでした。その艇庫が、また八幡橋の際で、練習は艇庫に集まって学校まで川伝いで練習しました。先輩たちのころに返子開成にもボート部がありました。♪真白き富士の峰 緑の江の島の歌で有名ですが、病気の先生のお見舞いに学校のボートの生徒に兄弟も加わり12人が乗って行ったのです。全員が遭難し、ボート部は解体したのです。競争相手がいなくなり残念なことでした。またこのあたりは、私にとって水泳の8kmの遠泳のスタート・終着地点でした。そして、その後橋の海側は飛行場になったのです。



横浜市民子どもミュージカル
「横浜うらしま伝説 2023」 稽古風景
藤原俊太郎氏 撮影



横浜市民子どもミュージカル 10周年記念公演
「横浜うらしま伝説 2023」
開催日：8月26日(土) ①14:00 ②18:00
8月27日(日) ③11:00 ④15:00
会場：関内ホール・小ホール
※詳細は左記参照。赤い靴関係者割引有り。
観覧ご希望の方は赤い靴事務局まで。

その当時の日本海軍横浜航空隊は今でも私の部屋から見えます。春になると桜の名所でもあります。当時、飛行艇は日本、ロシア、そしてカナダの3国しか所有していなかったのです。船を離れたところに移動させて、広大な海原を滑走路にしたのです。

戦後、伊勢佐木町の野毛側・若葉町辺りなりに米軍が、滑走路を造り、セスナ機クラスの飛行機が飛んでいました。ある程度のお年の方ですと知っておられるでしょうが、焼け跡でもついこの間まで街だった所にセスナが離着陸するのは、不思議な光景でした。

さて、7月30日(日曜日)中区ダンスフェスは17回を迎えました。今年はお出展ダンサーが500人近く、観客数は約1000人とますます人気の催しになりました。昨年に続き高校生以下の子ども達には横浜市中区より参加費の半額近い補助金が出ますので、子ども達への応援は、他区に比べ恵まれています。コロナ禍から脱し、今年には本来の舞台進行に戻し、各団体の本番を続けて観ることが出来るようになり、会場は大いに盛り上がりました。来年は7月28日(日曜日)関内ホール・大ホールで開催です。もう準備は始まっているようです。

8月18日(金曜日)には、赤い靴記念文化事業団の顧問、ザ・シワクチャーズ横浜の主宰者でありました高木東六先生の17回目の「東六忌」を催します。野中正先生が今年も東六作品をピアノ演奏され、シワクチャーズと横浜☆男声合唱団は長登章子先生の指揮で東六作品を歌います。先生の曲とお人柄を忍ぶ日になります。来年は生誕120年を迎えます。

そして、8月26日(土曜日)、27日(日曜日)に、横浜市民子どもミュージカル「横浜うらしま伝説2023」の公演が関内ホール・小ホールで開催されます。出演の子ども達は神奈川県にある慶運寺・通称「うらしま寺」に行ったりその他の関連の場所を尋ねたりして、現在につながる物語とテーマを本番で皆さまに観て頂けるように最後の稽古を頑張っています。ぜひご覧頂きたいと願っております。

6月末の赤い靴ジュニアコーラスの定期演奏会、7月のダンスフェスティバル、そして並行して子どもミュージカルの稽古が5月から始まるなどで、各月末のお知らせが大幅に遅れておりまして申し訳ございません。これからは、何としても元に戻るよう努力したいと思います。

令和5年7月31日付(8月18日発行) 団長 松永 春

今後のスケジュール

- ★8/18(金)
「第17回東六忌」
会場：元町あかいくつスタジオ
ゲスト：野中正先生
参加：ザ・シワクチャーズ横浜
横浜☆男声合唱団
- ★8/26(土)・27(日)
横浜市民子どもミュージカル
「横浜うらしま伝説 2023」
場所：関内ホール・小ホール
時間：8/26 ①14:00 ②18:00
8/27 ③11:00 ④15:00
料金 一般 2,500円
高校生以下 1,300円
- ★10/15(日) 10:00~11:00
東京湾大感謝祭
場所：横浜市庁舎 1Fアトリウム
出演：横浜市民子どもミュージカル
観覧無料 ※詳細後日
- ★10/22(日) 11:00~12:00
「子どもミュージカルお礼公演」
場所：横浜麦田清風荘
出演：横浜市民子どもミュージカル
天才!あやとりサトシ君
観覧無料 ※詳細後日
- ★11/12(日) 午前中
ハローよこはま
場所：像の鼻パーク特設ステージ
出演：赤い靴ジュニアコーラス
観覧無料 ※詳細後日